

「支援力+協働力パワーアップ研修 in 岡山 2013」 アンケート集計

(2013年4月26日～28日 参加者数;実数計 68名(A:49名、B:37名、C:27名)、アンケート回収数;37枚)

* 提出はお1人1枚。参加研修の最終回の終了時に回収。

1. 今回の研修は、あなたの期待を100点とした場合、何点でしたか？

26日(Aのみ参加):100点:2、98点:1、90点:5、80点:3 <平均点>89.8点

27日(Bのみ、ABのみ):100点:1、99点:1、90点:1 <平均点>96.3点

28日(ABC、BC参加):150点:1、120点:1、100点:7、98点:1、95点:3、90点:6、85点:1、80点:2

<平均点 * 100点以上は100点として計算>94点

点数がつけられない(入って数週間で正直すごく難しかったので点数がつけられません。すみません)1

★全体平均:92.9点

2. 上記1. の点数をつけた理由をお書きください。

26日(Aのみ参加):

時間が短く、駆け足だったから/自分の地域の課題やしなければならない事をまとめられた/様子がわからない中で、盛りだくさんの内容でした。2日ぐらいでしていただくといいです。/もう少し他の団体との交流があればよかった/非常にわかりやすかったです/充分満足のいく内容でした/自分の協働についての理解が低すぎ/テーマ課題とは別に色々な事例紹介があり、自分のこれからやりたいことのプラスになった/実際に協働に携わっている方からの貴重な意見をいただいたり、質問できたことがとても有意義でした/地域のワークの時に他の地域の方もいて、深い話ができなかった。

27日(Bのみ、AB参加)参加:

学びたいことが学べた/講義の内容はとても役に立ちました/気づきをたくさんいただきました。出会いもできました。

28日(ABC、BC参加):

ほぼ予定していた知識を受けることができた/自分のしなければならないことをどうやっていったらよいかを可視化できたから/2,3日目のお話、ワークがとても参考になりました/事前課題をやりつつ、内容をイメージし過ぎちゃってました。事前課題で考えたことを研修中にもっと活かしたら良かったと思いました。/学びだけでなく、自らの事業。業務の整理ができる/研修を通じて自分の活動の振り返りができた/プログラムAに参加できなかったから。BCについては学ぶ部分が多く大変勉強になりました。/自分の組織、業務を改めて確認していこうと思います。/昨年から約1年。改めての気づきと「やる！」の方向性を改めてもてました/当方の運営アシストやゆうあい施設見学の効率、当法人の紹介が今一歩足りないものだったため/いつも中長期的な視点がおろそかになるので、それを改めて考えることができました。/ワークショップの時間の使い方がもう少し有意義だと良いような…。/昨年参加した時よりも手ごたえが得られた/改めてセンターのスタート時によかったです/大変満足しています/知らないことばかりで多くのことを知ることができた。最後にアクションと日付の設定することもよかった/今、整理すべきこと、考える際の視点、留意点などが明確になった/自分たちが何をしなければならないか、がより鮮明になり、不足している視点もわかりました/現場に持ち帰って実際に立つ情報が盛りだくさん。モチベーションアップにも効果大!/新人には難しい内容、ということで期待度が低かったのも、その分、満足できた気がするから/

3. 上記1. の点数を高めるには、どの部分をどのように改善すればよいかご助言をお願いします。

26日(Aのみ参加):

半日ではなく1日のプログラムに/満足です/2日間開催にさせていただくと、土曜日曜にかかっても良いです/交流、

ワーク/自己紹介の時短/もっと理解してから参加/時間があればもう少し情報交換できればと思いました/遠方から参加の人、1人で参加の人のワークの参加の仕方を工夫

27日(Bのみ、AB参加)参加:
自己紹介が長すぎたと思います

28日(ABC、BC参加):

ワークの時間がもう少し欲しい。もう少し考える時間が必要と思われる/中山間のことをもっと学びたいので、来月の雲南での研修で是非100点を書きたいと思います/あの事前課題を具体的にどう活かしたらいいのか教えて頂けるとありがたかったです。/自分自身の事前勉強不足/施設見学の方法見直し、事前のFB等での打ち合わせ/記入した用紙を読み込んでいくには、書き方が乱雑すぎて読みにくい。自分の力不足か、読み取る事がむずかしくかった。/市町村の地域のセンターの方(岡山県外)からもう一回り参加が広がる、中国5県の連携をさらに向上させて、できるといい。/当法人がソフト面でのサポートでしか支援提供できていないので、問いに対してイメージするのが難しかった。/自分の勉強不足のせいですが、川北さんのお話で早く聞き取れないことがありました。/テーマ型中間支援組織の参加がもう少しあるとよかった。→今後同様の研修があれば他団体に参加を促したい。/今回のフェイスブック専用ページでもフォローされるかもしれませんが、研修後の情報共有ができると尚ありがたいです/周囲の話では今回の研修の進行スピードは遅い方とのことだったが、情報処理能力の低い自分にはものすごく早く感じられた。じっくり、ゆっくり、丁寧に進行してもらえれば、もう少し理解度が高まったのでは。

4. 本研修で、あなたにとって「一番役に立ったこと」は何でしょうか。

26日(Aのみ参加):

必須アクションを考えてみたこと/協働の取り組みに向けての考え方/NPOとか協働という言葉は狭く考えていましたが、地域が良くなる仕組みを皆でつくり出していくという気持ちに広く受け止めることができました/協働環境調査/4月から人事異動でかわってきたので、協働のしくみがよくわかった/自分のまちの課題とやることリスト作成による気づき/行政の方との意見交換/今後の協働の進め方の具体的な手順/何をやるかのワーク/何をやるべきかがわかったこと/

27日(Bのみ、AB参加)参加:

協働とは、が少しわかったような気がする/中間支援の大切なこと

28日(ABC、BC参加):

行政との協働でこれからやっていくことの落とし込み/団体としてどこを目指し、いつまでに何をやるかを考えるスキルが得られたこと/やるべき事が見えたこと/良質なえこひいきをすること(重点分野を定めること)の大切さがわかりました/自分たちの活動をグループワークで検証できたこと/「手段と目的を取り違えないこと」という言葉はその通りだと思いました。きちんと「支援の、その先」を見据えて活動したいです。/団体としての課題とともに長所、アピールポイントを客観的に把握することの大切さを確認できました。併せてその長所をわかりやすく発信することが地域の活性化につながるのだと思います。これは個人のあり方についても同じことがいえると思いました。市民活動団体からみた社会福祉協議会像を教えていかなければ、と思います。/1日だけの参加でしたが、NPOセンターとして、また自分自身のすべき事が見えた/ゆうあいには場所があることが強みあと思っており、受け身の支援・待ちの体制があったと思います。「支援すべき」をしっかり考えることができ、自分の行動、考え方が改めて見えてきました。/進んでいる方向に対する再確認。中国5県の信頼関係の確認/分野を絞ることの大切さと自治会への働きかけの大切さ/具体的な行動計画をえがく事ができたこと/入って数週間で、毎日覚えることばかりで、団体さんがこれから地域でどう活動していったら防府が良くなるかという所につながるまでが見えづらくてぼんやりしていたのがすこしだけ見えた気がしました。/ゆうあいセンターの施設見学対応準備中に気づきが多くあり、見学後のご意見

からさらに気づかされたこと。/集落支援、コミュニティ支援へのアプローチ/今まで考えられてなかったことを考えられた。/客観的な意見をたくさんきけてよかったです/参加したスタッフ、理事と団体の課題と今後やるべきことを一緒に考え、共有できたこと/先を予測すること。「当事者が困ったから、助ける」でなく、先読みしておく。/現状の課題を把握するための人口統計調査の活かし方が確認できたこと/新人なので、日常の業務を覚えることだけにしか目がいかない状況だったが、今後、自分がどのような問題意識をもって働いていけばいいか明確になった。/ゆうあいセンタースタッフ(県社協、岡山NPOCとも)全体で方向性を共有することができたこと。各種ワークのおかげです。

5. 本研修終了後、あなたが所属組織に戻って、すぐに実行・着手しようと思っていることは何ですか。

26日(Aのみ参加):

市民活動センターのビジョンづくり/協働事業制度への取り組み/やらなければならない事を認識できる良い機会となりました。まずは地固め、職員の意識向上から取り組みたいと思います。/調査を市と協働で/プロセス評価/協働の意義についての勉強会/協働について市への提案/課内での情報共有/これができるNPOリスト集と共働情報コーナー/NPOリスト事例集

27日(Bのみ、AB参加)参加:

知り合った団体との具体的な連携・協働のプレゼン/協働/中間支援の大切なこと、の共有

28日(ABC、BC参加):

今年度の事業計画/資金調達のスキームを考えること、自分たちの顧客(ターゲット)を明確にし、プログラムを考えること/集落の自慢大会/県の調査関係の情報収集。H25年度に取り組む事業の具体的な目的・目標・スケジュールの設定/勉強会、助成先整理、課題発掘、原点!/組織(グループ)内での情報共有/まずは視察で皆さんからいただいたアドバイスをもとにゆうあいセンターのハード面、ソフト面を見直していきたいです/自分の組織、部署の長所、課題、自分自身の長所、課題を改めて考えようと思います。/相談先のカルテ作成/「支援すべき」団体等を見つけ出すためにも、ゆうあいの登録団体を整理する/市町村の支援センターの運営への介入。中国5県連携での国や企業への提案など/ミーティング、勉強会の日程調整/スタッフとの研修内容の共有。と行政との話し合い。/団体さんを知り、話しを聴くこと。/見学で頂いたご意見は全て検討し反映させる(1か月以内)/担当課のメンバー、職員と共有化。そのための準備。データから将来の市町村、県の人々の暮らしを描く(デザインの素)/全評議員と全理事へ訪問をする/めばしい団体・個人への個別訪問/研修で学んだことや気づきを整理してMLでシェアする/集落カルテの作成へ取り組む。他事例の情報収集(地域別、期間を集中して、勉強会)/何はともあれ、研修で学んだことをしっかりと共有し、伝えること。研修で決めた「やるべきこと」を日常業務できちりと落とし込んで着手、実施できるようにする。/2週間で半人前的な業務リストを現在進行形で作る/担当事業の計画見直し、協働調査フォーマット作成。担当課とも共有。

6. 次回の受講者の方々、または、あなたの同僚や先輩・後輩に対して、「本研修のおすすめポイント」は?

26日(Aのみ参加):

協働の基礎から事例を含む幅広い知識の習得/活発な意見交換が魅力です。川北先生の講演もちろん、研修参加者同士に教え合いの場があり、参考になります。/具体的な協働の方法を伝えられる/管理職、議員にきいてもらいたい/協働を進めていかなければいけないと気づきますよ/まずは、協働を考え、深めるきっかけになる/毎年、担当者が順番に参加させていただいています。NPOの立場もよくわかる!/おみやげ楽しい。数人ですること、見直せる/どうかしなければ!でもどうしたらいいかわからない、という方にはたくさんヒントが得られます

27日(Bのみ、AB参加)参加:

「自分の気づき」を通して、組織のあり方が学べる。/話の内容が広いので色々な分野で活用できる/ミッションを確認できる。後立てになること。

28日(ABC、BC参加):

事例、特に6次化→現地訪問/絶対寝かさない講師(川北さん)の話術と、一目でわかる資料の提示/今まで自分たちの団体が行っていたことの振り返り、再確認。方向性をちゃんと見直していますか?この研修ならできます。/自分が「やるべき事」が明確になる。/なぜ我々は支援するのか!?その原点が見つかります。/振り返りと気づきで課題を明確にできます/座ったままの研修でなく、みんなで考える研修であること。ソフト面、ハード面の基礎から応用までを学べること/NPOが目指すあり方、目指すことを取り違えている人もいるので、本当にNPOが目指していることは言葉は違えど「地域福祉の推進」にあることがわかります。/人をまきこむための「根拠」について考えられる。「事業のため」(手段)ではなく「社会のため」(目的)を考える時間をもてる/支援とは?どの方向に進んでいけばいいのか?が確認できて、目線を上げることができます。/次に進む指針が見えてくるので足りないものが分かる/日頃の雑務に追われていて、できない行動計画をアドバイスをいただきながらできた事。/自分の足りていない部分にしっかり気付けます。/チャレンジャーになれます/職員、役員全員で参加してほしい/豊富なデータと事例が素晴らしい(わかりやすい)。川北さんとの距離も近く、質問も気軽にできる/団体スタッフ、理事間の絆が深まる!/協働、支援を本気で考える、集中的に考えることができる/どの役職、立場の人でも本研修に何回参加した人でも、全方位的に必ず実務的に役立つことを持って帰れる研修です!/心に火がついて、いてもたってもいられなくなります

7. 次回、本研修を開催する際の開催時期などのご助言をお願いします。

今回と同じ時期がよい:11

(4月がよい:1 当団体は6月から新年度なので:1)

5月頃:9

(5月中旬:2, GWあけ:2 新人なら一月くらい経験してからのほうがよい:1)

(今回参加を断念した団体から聞くと、5月以降がベターという意見が多かったです)

4月は年度始まりなので少しずらしてほしい、4月以外:5

平日のほうが参加しやすい:1

日曜、または夜:1

年度末でなければ大丈夫:1

広報を早めに:1

オプション企画の告知を早めにしてもらえるとよい:1

内容についてはもう少し早めにいただきたい:1

休日でOK, 平日でもOK:1

8. 本研修は何を見てお知りになりましたか?(複数選択可)

フェイスブック:7

ツイッター:0

川北秀人のブログ:2

IIHOEのブログ:2

岡山NPOセンターのHP、ブログ:6

チラシ:1

メーリングリスト・メールマガジン:2 (中国5県ML)

知人からの紹介:14

(湊さん/加藤せい子/あすみん/ひろしまNPOセンター/多文化東海土井さん/上司/ゆうあいセンター所長/岡山NPOセンター/於土井さん/西岡明楽さん/山田健一郎さん)

□その他:8

(毎年所属から1名参加することになっています/川北さんの研修(福岡県主催)/職場で/中国5県会議/センター職員からの紹介)

9. 今後、研修で特にとりあげてほしいテーマ・課題があればお教えてください。

中間支援組織向け「社協との連携」/中間支援の運営形態/NPOのビジネスモデル(資金調達を中心に)について/中山間集落のあり方、支援方法/社会福祉協議会とNPO法人が地域で共に活動するにはどうするか/アセスメントのつくりかた/中間支援センターの財政基礎づくりについて/データの収集・整理・分析・見せ方の方法/ビジネスモデルごとの資源調達に関する助言の仕方